

# 映画 **浪曲**

山中貞雄監督作品 ● 中村翫右衛門、原節子、河原崎長十郎

悪党のさらに上をゆく大悪党二人が  
可憐な娘を助けるために命を投げ出す

# 河内山 宗俊

こうちやまごうしゆん



©日活

**12月6日(水)**

**夜 6:30** (開場 6:00 終演 8:00)

**シネマ5 bis**

映画上映に引き続き浪曲口演

**料金：3,000円**

主催：合同会社チネ・ヴィータ

芸術文化振興基金助成事業

浪曲口演  
**上州屋玄関先**

浪曲師

**玉川奈々福**

曲師 **広沢美舟**



©御堂義乗

# 映画 浪曲

# 河内山宗俊

1936年 / 日活京都・太秦発声作品

金子市之丞

河内山宗俊

お浪

■物語 江戸末期・天保時代。居酒屋の女将のヒモをしている茶坊主の河内山宗俊と、テキ屋の用心棒・金子市之丞。悪友二人の心の慰めは、境内で甘酒を売る健気な娘・お浪だった。ある日、お浪の弟で遊び人の広太郎が、幼なじみの芸者の三千歳と心中を図る。生き残った広太郎は借金を負い、お浪は身売りを決意する。そのお浪を救うため、河内山宗俊と金子市之丞は一世一代の大博打に命を懸けるのだった…。

©日活

監督・原作：山中貞雄 / 脚色：三村伸太郎 / 撮影：町井春美 / 録音：萬寶圭介 / 音楽：西悟郎 / 配役：河原崎長十郎（河内山宗俊）、中村翫右衛門（金子市之丞）、原節子（お浪）、市川扇升（広太郎）、直侍、山岸しづ江（お静）、助高屋助蔵（丑松）、坂東調右衛門（森田屋清蔵）、市川蓮司（健太）、瀬川菊之丞（松江侯） / 白黒スタンダード / 87分

■解説 1938年（昭和13年）に戦地で28歳の若さで夭折した天才監督・山中貞雄。彼の作品で現存するのは『河内山宗俊』の他に『丹下左膳余話 百萬両の壺』『人情紙風船』の三本しかなく、いずれ劣らぬ傑作である。江戸時代に実在した河内山宗俊をはじめとする6人のアウトローを描いた「天保六花撰」は、講談、歌舞伎、浪曲などの演目として知られている。権力をかさにきる者たちを叩きのめす悪党を描いた痛快な物語だが、山中貞雄は、物語に改変を加え、ユーモアを交えつつ、人のために命を捨てる男たちの潔さを鮮やかに描いている。『丹下左膳余話 百萬両の壺』でも描かれた「偽物

／本物』の取り違えというモチーフはここでも使われている。河内山宗俊と金子市之丞は、悪には強くせに可憐な女性にはめっぽう弱い。ヒロイン・お浪の前に出ると形無しの中年オヤジになってしまうというキャラクターは、宮崎駿監督『ルパン三世・カリオストロの城』と同じだという指摘もある。『河内山宗俊』は、原節子の実質的なデビュー作であり、山中の盟友であった小津安二郎が戦後、原節子を主演に迎えたのは山中への思いがあったからだとも言われている。小津の『麦秋』の中には、「天保六花撰」を歌舞伎にした「天衣紛上野初花」がラジオから流れ、原節子が耳にする場面もある。

## 浪曲

てんほうろっかせん  
天保六花撰より  
上州屋玄関先

講談「天保六花撰」をもとに、歌舞伎「天衣紛上野初花（くもにまごうえののはつはな）」がつくれ、やがて浪曲の演目となって広く知られた。浪曲では、質屋・上州屋にカネの無心に訪れたお数寄屋坊主・河内山宗俊が、上州屋が松平出羽守の上屋敷に女中奉公に出した娘のお浪が側妻（そばめ）にされようとしていることを知り、お浪を救出する策を練る…。

## 浪曲師 玉川奈々福



©御堂義典

1995年、二代目玉川福太郎に曲師として入門。2001年より浪曲師として活動を始める。古典から新作浪曲まで、幅広い持ちネタを披露し、浪曲新時代を牽引するトップバッターとなる。さまざまな浪曲イベントをプロデュースし、ジャンルを超えたコラボ、エッセイの執筆、海外公演など、多岐に渡る活動を続けている。（一社）日本浪曲協会理事。

## 曲師 広沢美舟



©御堂義典

義太夫から三味線に興味を持ち木馬亭に通ううち浪花節に魅せられる。2015年、曲師のレジェンド・沢村豊子に入門、翌年初舞台に立つ。今や多くの浪曲師に重用される存在である。

12月6日(水)

夜6:30開演 開場6:00

映画に引き続き浪曲(終演8:40)

シネマ5bis

府内町「焼肉たつみ」隣B1F 097-536-4512

主催：合同会社チネ・ヴィータ 芸術文化振興基金助成事業

料金：3,000円

11月18日よりチケット発売  
全席指定

